

科目ナンバー	LIT-2-006-sn			科目名	比較文学・文化I		
教員名	西川 正也			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	明治後半から昭和へと至る時代に活躍した日本の文学者において、外なる世界、新たなる文学に対する感情がどのようにして育まれたのか、また異なる文化との接触や海外体験、時代の推移などによって、それらがどのように変化していったのかという問題について考察を進める。またその際に、彼らを取り巻く当時の日本と世界の状況についても、比較文化的な視点から検討を行なう。						
到達目標	近代の日本を代表する文学者やその作品、さらには彼らが生きた時代について、歴史的な背景や世界状況との関わりを考えながら、あらためて捉えなおすことを目標とする。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力		分析し、思考する力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	各授業の前半では、明治後半から昭和に至るまでの文学者やその作品について、比較文学・文化的な視点から考察し、講義を行なう。 ＜＜アクティブラーニング＞＞各回の授業の後半では参加学生から要望の多かったテーマを取り上げ、様々な資料、テキストや視聴覚教材などにあたりながら、参加者自身の意見をアンケートにまとめてもらう形で授業を進める。 また授業ではMOODLEを用いる予定である。						
アクティブラーニング	○	サービ斯拉ーニング		課題解決型学修			
受講条件 前提科目	＊受講希望者が多数の場合には抽選等による履修制限を行なう場合があるので、受講を希望する学生は、必ず第一回目の授業(シラバス授業)に出席すること。(シラバス授業を欠席した場合には、履修が認められないので注意すること。) ＊「近代日本の成立」の授業で扱う時代の後に続く、日本と世界の状況について論じるため、受講の前提条件ではないが、「近代日本の成立」もあわせて履修するとさらに理解が深まると考えられる。						
アセスメントポリシー及び評価方法	成績は、授業内容に関する知識習得度を学期末の試験(80%)で判断するほか、通常授業への参加度(20%)等を総合して評価する。						
教材	必要な資料は授業時に配布する。						
参考図書	加藤周一『日本文学史序説(上・下)』ちくま学芸文庫 畑・山田・長野『作品で綴る近代文学史』双文社出版『森鷗外全集』岩波書店 森鷗外の作品(各文庫版あり)『夏目漱石全集』岩波書店 夏目漱石の作品(各文庫版あり)						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	シラバス授業(ガイダンス)						
授業外学修内容						時間数	
2週目							
授業学修内容	概説						
授業外学修内容	授業内容の復習					時間数	0.5
3週目							
授業学修内容	明治後半の文学						
授業外学修内容	授業内容の復習					時間数	0.5
4週目							
授業学修内容	森鷗外(留学以前)						
授業外学修内容	授業内容の復習					時間数	0.5
5週目							
授業学修内容	森鷗外(帰国後の活動)						

授業外学修内容	授業内容の復習	時間数	0.5
6週目			
授業学修内容	夏目漱石(留学以前)		
授業外学修内容	授業内容の復習	時間数	0.5
7週目			
授業学修内容	夏目漱石(帰国後の活動)		
授業外学修内容	授業内容の復習	時間数	0.5
8週目			
授業学修内容	自然主義		
授業外学修内容	授業内容の復習	時間数	0.5
9週目			
授業学修内容	大正から昭和へ		
授業外学修内容	授業内容の復習	時間数	0.5
10週目			
授業学修内容	*言葉遊びの詩		
授業外学修内容	授業内容の復習	時間数	0.5
11週目			
授業学修内容	*世界における日本文学		
授業外学修内容	授業内容の復習	時間数	0.5
12週目			
授業学修内容	*日本と世界の童話		
授業外学修内容	授業内容の復習	時間数	0.5
13週目			
授業学修内容	*日本の映画とハリウッド映画		
授業外学修内容	授業内容の復習	時間数	0.5
14週目			
授業学修内容	*留学生による日本留学体験報告		
授業外学修内容	授業内容の復習	時間数	0.5
15週目			
授業学修内容	まとめ(上記*印は、これまでに取り上げたアンケート・テーマの例)		
授業外学修内容	授業内容の復習	時間数	0.5
上記の授業外学修時間の合計		7	
その他に必要な自習時間		83	

Number	LIT-2-006-sn	Subject	Comparative Culture & Literature I		
Name	西川 正也 (Nishikawa Masaya)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course	0 Much of Japanese culture, which we currently take for granted, was not formed inside Japan, but it was produced and developed through cross-cultural contact and exchange, influence, and imp				

outline	orts at various points. In this course, we will focus on the litterature of Meiji Period, especially on the life and works of Ohgai MORI and Soseki NATSUME.
---------	--